

新春お正月遊び



去る1月3日(月)徳成寺において、2022年最初の寺ともサービスデー「新春お正月遊び」が行われました。2007年に始まった寺ともサービスデーも、この日15周年を迎えました。県内各地より、おひとり様や親子連れなど定員いっぱいの皆さんにお集まり頂くことができました。今回はお正月遊びをテーマに、羽子板作りとかるた取りで盛り上がりました。日本の伝統的なお正月遊びを、こんなふうに楽しんでみました。

まず予め用意した白木の羽子板に、下絵を描いてもらいました。この時、何を描くかは、各個人のセンスが表れるところです。寅年にちなんで、寅の絵柄を描く方や、ゲームや絵本のキャラクター、ダルマさん、そして季節のお花の柄など様々でした。

今時なので、スマホで描きたい図柄を呼び出して描いている方もいました。中には思うように描けず断念する方もいましたが、それでも出来上がったようです。



カラフルなオリジナル羽子板が完成しましたね。早速、公園で実際に羽根つきをやってみました。ところがバドミントンと違ってなかなかラリーが続きません。墨があれば、真っ黒に塗られたことでしょうか。お次は、かるた取りです。



子供の部と大人の部二つに分かれて行いました。今時かるたなんて思っていたら、みんな本気モードなので驚きました。

たくさんかるたが取れた人も取れなかった人も、集中力がぐんぐん高まって、まさに争奪戦でした。成績上位の方には、素敵なプレゼントが贈られ、新年早々の福をゲットしたようです。

